

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

鹿児島県立図書館

平成29年3月15日 発行

第72号 （毎月15日発行）

<http://www.library.pref.kagoshima.jp>

Tel : 099-224-9511

ホットニュース

決定！平成29年「こどもの本」－児童図書モデルリスト－

児童図書モデルリストは、家庭や学校、公立図書館（室）等で、子どもの本を選択する際の参考資料として、鹿児島県立図書館が所蔵する図書の中から選定し、作成したものです。

今回は「平成29年『こどもの本』－児童図書モデルリスト－」として、平成28年1月から12月までに当館で購入した児童図書の中から「幼児、小学校低・中・高学年、中学校、指導者用」に分けて選定しました。

モデルリストは、昭和50年から作成しており、過去3年間のモデルリストについては、鹿児島県立図書館児童文化室の「研究室」で御覧になれます。



3月23日（木）からは、児童文化室で展示するとともに、ホームページでも紹介します。平成28年、平成27年の『「こどもの本」－児童図書モデルリスト－』と併せて、積極的に御活用ください。

※ 本書では、「幼児、小学校低・中・高学年、中学校、指導者用」にグレード分けていますがこれは、一応の目安ですので、それぞれの発達段階や個性等を考慮して御活用ください。



図書館で探そう、調べよう！

「読み聞かせ」というと対象者は子どもをイメージしがちですが、最近は、高齢者向けの施設等で行われることも多いようです。近年、児童文化室には、そういった場で使う作品を探しにいらっしゃる利用者が増えています。そのような方には、高齢者向けに作られた紙芝居を紹介しています。昭和ロマンスを題材にした『愛染かつら』

（川口松太郎/原作，雲母書房）や日本の古典『安珍清姫物語』（サワジロウ/脚本・絵，雲母書房）をはじめ、「はじめてみよう老人ケアに紙芝居」というシリーズ等10作品を所蔵しています。

また、これに関連して一般閲覧室の「医療・福祉支援コーナー」には、高齢者への読み聞かせの実践に関する本があります。『はじめてよう老人ケアに紙芝居 観ること，つくること，演じることの楽しみ』（遠山昭雄/監修，雲母書房）や、『介護とブックトーク 絵本を介護現場に届けよう』（梓 加依/ほか著，素人社）など、ぜひ紙芝居と併せて御活用ください。

新着図書案内

《一般書》3月15日（水）

- 『銀の猫』 朝井まかて/著 文藝春秋
- 『墨龍賦』 葉室麟/著 PHP研究所
- 『緑のさる』 山下澄人/著 平凡社
- 『屋根をかける人』 門井慶喜/著 KADOKAWA
- 『植田正治作品集』 植田正治/著 河出書房新社

《児童書》3月23日（木）

- 『ふわふわでんしゃ』 小坂タイチ/え 交通新聞社
- 『なきむしにがんばり！』 宮川ひろ/作 小泉るみ子/絵 童心社
- 『お話は土の城のテラスで』 和田正平/編著 メディアアイランド
- 『まっしょうめん！』 あさだりん/作 新井陽次郎/絵 偕成社
- 『なつかがなつかであるために』 あいだひさ/著 白保美香/イラスト パレード

催し物の御案内

- 1 一般閲覧室ミニ展示 3月1日(水)～3月31日(金)
「考えてみよう、防災」
東日本大震災から6年が経ちます。改めて防災について考えてみませんか。
- 2 児童文化室ミニ展示 3月23日(木)～4月22日(土)
「決定!『平成29年こどもの本ー児童図書モデルリストー』」
平成29年こどもの本ー児童図書モデルリストを紹介しします(幼児は20冊、小学校低学年、中学年、高学年、中学生はそれぞれ15冊、指導者は3冊を紹介しします。)
- 3 さくらの下のおはなしのじかん開催
4月5日(水)の「おはなしのじかん」は、児童文化室を飛び出して、桜の木の下で実施します。お楽しみに…!(桜の開花状況等で変更あり)



図書館職員のつぶやき

図書館は、本当に様々な方のおかげで成り立っています。駐車場の管理や館内の安全を確認する巡視員の方々や清掃員の方々、空調設備や照明などの管理点検をする機械室の方々。また、破れた本のカバーやページのとれた本を修繕したり、人形劇の人形や小道具を製作したり、返却された本の配架や整架をしたり、子どもたちへ読み聞かせを行ったりするボランティアの方々。特にボランティアの方々には、ボランティアの三大原則である自主性・公共性・無償性のもと、利用者のために献身的かつ精力的に活動していただいております。先日2月10日にはその活動が認められ、鹿児島市社会福祉協議会福祉功労者表彰を「鹿児島県立図書館ボランティア」が受賞しました。今後も益々活動に磨きがかかることと思います。これからもよろしくお願い致します。



県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、なかえよしを/作、上野紀子/絵の『ねずみくんのチョコッキ』(ポプラ社)です。

私が、読み聞かせのために初めて購入した絵本は『ねずみくんのチョコッキ』でした。どんだんのびていくチョコッキにドキドキしながら、最後にのびきったチョコッキをずるずるひきずりながら帰るかわいそうなねずみくんに「えっ?まさかの悲しすぎる結末?」と思いきや、ブランコにになってしまう発想のあたたかさにほっこりしてしまいました。数年後、小学一年生になった子どもが学校の図書室からねずみくんシリーズを借りてきてくれました。子どもの心の中にねずみくんが生きていたんだなあとおどろきと感動が伝わりました。



『おおきな木がほしい』(佐藤さとる/ぶん, 村上勉/え 偕成社)からのクイズです。

主人公のおおきな木は、にわにおおきな木があるといいなとおかあさんにはなします。かおるがかんがえたおおきな木には、どうぶつたちややってきたり、だいどころがついているこやもあったりします。そのだいどころで、かおるはなにをつくったでしょうか。

ヒント
ふわふわして
きいろいケーキだよ!



答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、4月14日(金)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「うさぎ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
3月	12	13	14	15★	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25
	26	27	28	29★	30	31	
4月							1
	2	3	4	5★	6	7	8
	9	10	11	12★	13	14	15◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日: 9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜): 9時～17時

■ は、休館日。

○ は、学習室のみ開室(9時～17時)。

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。

※ 4月5日(水)は、さくらの下のおはなしのじかんです。

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(3月15日、3月31日、4月14日【予定】)。

□ は、児童文化室新着図書の日(3月23日)。